

令和6年度 中高・飯水地区中学校教科用図書を選定について

令和6年7月31日に開催しました、令和6年度 第2回 中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会において、令和7年度から使用する教科用図書について協議を行った結果、下記のとおりとなりました。

中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会
会長 山田 晃

記

1 選定日 令和6年7月31日

2 選定した教科用図書及び選定した理由

教科		発行者の		教科用図書名
		番号	略称	
国語	国語	38	光村	国語
	書写	38	光村	中学書写
社会	地理	2	東書	新編 新しい社会 地理
	歴史	2	東書	新編 新しい社会 歴史
	公民	2	東書	新編 新しい社会 公民
	地図	46	帝国	中学校社会科地図
数学		61	啓林館	未来へひろがる数学
理科		2	東書	新編 新しい科学
音楽		27	教芸	中学生の音楽
音楽		27	教芸	中学生の器楽
美術		116	日文	美術
保健体育		224	学研	新・中学保健体育
技術		2	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
家庭		2	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
英語		9	開隆堂	Sunshine English Course
道徳		17	教出	中学道徳 とびだそう未来へ

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
国語 (国語)	38	光村	国語

選定した理由

4社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、社会生活に必要な国語の特質を理解し、実際に主体的に活用できる知識及び技能として習得できるよう工夫がされている。互いに伝え合う力や、論理的に思考し想像する力を高め、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう配慮がされている。また我が国の言語文化や国語を尊重して言語感覚を豊かにし、その能力の向上を図る態度を養えるよう工夫がされている。

生徒への学習活動への配慮では、教材は、生徒の発達段階に応じて各領域が段階的かつ系統的に配置され、軽重をつける等、バランスの工夫がされている。1学年で身近な題材を学び、2、3学年で生き方や社会に関わる題材を学ぶ等、生徒の言語環境や興味関心、発達段階に応じて、幅広い分野から題材を求め、学習意欲が喚起されるよう工夫がされている。生徒の日常生活に関連したり、知的好奇心を喚起したりするような言語活動が設定されていることで、主体的・対話的な学びが促されるよう工夫がされている。ユニバーサルデザインフォントが用いられ、生徒の発達段階を考慮して、学年が上がると字間や行間を狭めたりする等、読みやすいよう工夫がされている。古典の題材では効果的に学習できるよう文字配置に工夫がされている。「学びへの扉」「学びのカギ」では学習の流れや学習事項が示される等、見通しをもてるよう工夫がされ、図表も色に頼ることなく作成され、色覚特性への配慮がされている。

学習指導への配慮では、生徒の発達の段階や習熟の過程を考慮し、段階的かつ系統的に学習ができるように構成されている。全領域に「学びのカギ」が示されており、育成すべき資質・能力を、領域を超えて活用できるよう、単元相互の関連性や連続性が有効に図られている。「言葉による見方・考え方」を働かせて表現をするとともに、それについて意見や感想を伝えたり述べたりして、対話的に学ぶ活動が示されている。「語彙ブック」「思考のレッスン」「情報処理のレッスン」等知識及び技能に関する資料を用いて、3領域の学習と関連付け、段階的・系統的に学習できるよう工夫がされている。巻頭・巻末や教材中にさし絵や写真、図・グラフ、QRコード等が掲げられ、目的に応じて効果的に活用できるよう配慮がされている。「振り返る」が各教材のあとに設けられ、評価の観点が明確になるとともに、自らの学びを言語化して振り返ることができるよう工夫がされている。

全体として、教科等横断的に取り扱える題材や、SDGsと関連する教材が選定されている。「学びへの扉」により、活動を見通し対話的に考えを深め、資質・能力を育むことができるよう工夫がされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
国語 (書写)	38	光村	中学書写

選定した理由

4社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、書写の基礎・基本、原則・原理を明確に示すことで、知識及び技能を習得できるよう工夫がされている。全教材で学習展開がパターン化されており、見通しをもって学習できるよう工夫がされている。身の回りの文字文化に触れられる資料が取り上げられていて、書写学習で身につけた力を活用できるよう配慮がされている。

生徒への学習活動への配慮では、生徒の発達段階に即して学習が進められるように構成されており、国語の教材や日常生活に関連した文字や言葉、文章が選定されている。手紙やはがき、原稿用紙等の書式や、学校生活や日常生活に生かせるような活用例等が示され、生徒が興味・関心をもてるよう配慮がされている。「考えよう」をきっかけにした気づきをもとに、「確かめよう」で原理・原則を確認し、「生かそう」で日常生活に生かせるよう工夫がされている。レイアウトや配色、フォントを工夫することで、混乱や読みにくさが生じないよう配慮がされている。

学習指導への配慮では、3年間の学習を日常で活用できるよう、発達段階に合わせて段階的かつ系統的な単元の配列になっている。毛筆教材や「書写ブック」、運筆動画を相互参照しながら活用することで、基礎的な技能を段階的に指導できるよう配慮がされている。

生活の中にある書や行書の作例を掲載し、書写で得た知識及び技能を硬筆に生かせるよう工夫がされている。筆の動きを写真で示すだけでなく、運筆などの動作を確認したいときに確認できるよう、QRコードが配置されている。全教材のはじめに学習目標が明示されており、それに即して学習に取り組み、自分自身で振り返りができるように構成されている。

全体として、写真やQRコードが配置されており、学習内容や既習事項が視覚資料で確認できるよう工夫がされている。「中学校書写スタートブック」や「書写ブック」が設けられ、毛筆を意欲的に学べるとともに、硬筆と繋げて学ぶことができる。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
社会 (地理的分野)	2	東書	新編 新しい社会 地理

選定した理由

4社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、地理学習の基礎的な知識及び技能を系統的に習得する本文の「チェック」や「スキルアップ」、まとめの「確かめよう」を設けることで知識及び技能が定着できるように工夫がなされている。1時間の学習課題に対し、本文の「トライ」や終末の「探究課題」で「見方・考え方」を働かせた学習活動ができるように工夫がなされている。「未来にアクセス」「もっと知りたい！」等を設け、現代的な諸課題について理解し解決しようとする態度を養えるよう、工夫がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、1時間見開き2ページで、資料や本文、「チェック&トライ」を紙面の定位置に配置し、学習の流れがわかる工夫がなされている。コラム「聞かせて！中学生」が設けられており、その地域の生活を身近に感じ、興味・関心が高まるよう工夫がなされている。小集団での参加型学習を行うコーナーが設けられており、課題に対し、主体的・対話的に学習ができるよう配慮がなされている。地理学習のまとめに持続可能な地域の在り方を位置付け、課題発見、調査、情報の整理、発信など調査活動の基本的な方法を具体的に示し、身に付けられるように工夫がなされている。立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習に必要な情報に集中できるよう配慮がなされている。

学習指導への配慮では、導入部→展開部→終結部の形で単元が構造化され、段階を踏んで探求課題を解決できるように工夫がなされている。章や節の始めに探究課題を明示し、1時間の学習課題を思考ツールの活用により整理し、課題解決が図れるよう工夫がなされている。学習の始まりの場面に「地理のミカタ」を示し、社会的事象の把握や関連性などを見出し、考察できるよう配慮がなされている。教科書全体を環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるよう配慮がなされている。1時間の課題を掴むきっかけとなる「導入資料」が大判で掲載され、スムーズに学習に入れるよう配慮がなされている。まとめが「探究のステップで振り返ろう」「『見方・考え方』を働かせてまとめよう」等で構造化され、評価の観点が明示されている。

全体として、単元を「課題をつかむ」→「課題を追究する」→「課題を解決する」という流れで構成することで、課題解決的な学習がスムーズに行えるよう工夫されている。「地球的課題を振り返ろう」や「未来にアクセス」を設け、習得した知識を働かせ表現する活動ができるように工夫がなされている。コラム「聞かせて！中学生」を設け、学習者の興味・関心を高め、主体的な課題追究につなげられるよう工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
社会 (歴史的分野)	2	東書	新編 新しい社会 歴史

選定した理由

9社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、歴史学習の基礎的な知識及び技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、必要な技能を確実に定着できるようにしている。「歴史的な見方・考え方」を働かせて、多面的・多角的に思考・判断・表現できるよう、学習場面や展開の工夫がなされている。発展的な学習内容や社会とのつながりを重視し、主体的に社会に関わろうとする資質・能力を養えるよう配慮がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、見開き2ページで1つの内容構成になっており、本時の課題をつかむきっかけとなる導入資料から終末に学びを振り返るまでの学習の流れが見えるような配慮がなされている。問いの設定や単元の見通しなどを、人物のセリフで対話的に示し、興味・関心を高め、意欲的に追究できる工夫がなされている。「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、グループ活動による対話的な活動を促しており、それぞれの考えを比較したり関連付けたりしながら思考を深められるよう配慮がなされている。「地域の歴史を調べよう」では時代や地域の異なる事例を取り上げ、テーマの設定→調査→考察→まとめの流れを示しながら、情報を効果的に調べまとめる技能が身に付くよう配慮がなされている。資料部分の背景に色を入れて本文との区別を明確にしたり、二次元コードの位置を統一したり、資料中の凡例を図中に示したりするなど、ユニバーサルデザインを意識した紙面となっている。

学習指導への配慮では、時代ごとに、「興味・関心をもたせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化しており、各時代の大まかな流れをとらえる学習が展開しやすくなっている。各章の「探究のステップ」では、各時代の代表的な事象を取り上げ、事象の背景やその影響、前の時代との差異などを連続的に追究しながら学習を進めることで、探求課題の解決に近づけるような配慮がなされている。各章の終末に、多様な思考ツールを活用して学習内容を整理する「まとめの活動」があり、事象の関連や流れをまとめ、時代の特色をつかむ学習が展開できるように配慮がなされている。教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識した学習が行えるよう工夫がなされている。資料にサイズなどを示したり、図番号を本文にも付したりすることで、効果的な資料の活用を促せるよう配慮がなされている。学習の過程に、「時期」や「推移」などの「歴史的な見方・考え方」を働かせるための「視点を示したマーク」を設け、視点を意識しながら学習を進められるように配慮がなされている。

全体として、導入資料から自然な流れで問いを設定し、課題解決的な学習を中心とした展開となっており、生徒の主体的な学びにつながるよう工夫がなされている。関連資料や思考ツール、対話活動などの学習活動を例示し、「歴史的な見方・考え方」を働かせながら思考を深める工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
社会 (公民的分野)	2	東書	新編 新しい社会 公民

選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、習得すべき知識及び技能を、具体的な社会的事象や多様な資料の活用を通して身に付けられるよう配慮がなされている。現代社会が抱える課題について考察し、多面的な思考力や公正な判断力、豊かな表現力が養われるよう配慮がなされている。持続可能な社会の実現に向けてできることを考える「未来にアクセス」を設け、社会参画の力を育成できるよう配慮されている。

生徒への学習活動への配慮では、見開き2ページで1時間を原則とし、「課題をつかむ導入資料」→「課題の追究」→「チェック&トライ(振り返り)」といった1時間の流れを視覚的に捉えることができるように配慮されている。単元の導入では、街のイラストやシミュレーションを利用した活動が設定されており、生徒の意欲を喚起し、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫がなされている。各章の終結部に思考ツールを用いて考察する「まとめの活動」を設けて学びを深められるようにし、「みんなでチャレンジ」では対話的な活動を効果的に実践できるよう工夫がなされている。学習の過程の各所に「見方・考え方」のマークを設け、社会的事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点で捉え、学びを深められるよう配慮がなされている。資料部分の背景に色を付けて本文との区別を明確にしたり、資料の図番号を本文にも付けたりと、二次元コードを定位置に掲載したりする等、必要な情報が探しやすくなる配慮がなされている。

学習指導への配慮では、小学校や地理・歴史分野の学習の成果を生かし、既習内容や3分野を関連させた展開ができるよう配慮がなされている。単元全体を貫く「探究課題」を立てる導入活動から、1時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める追究へと、問いを軸にして単元を構想できるよう工夫がなされている。各見開きページに、「チェック」「トライ」コーナーを設け、説明・要約などで学習内容をまとめる学習活動を行うことによって、思考力、判断力、表現力等を高められるよう配慮がなされている。環境・エネルギー、人権・平和、防災・安全などのテーマを設け、具体的な事象を取り上げることで、現代社会の課題を理解し、解決しようとする態度を育てられるよう配慮がなされている。ICT機器を活用して利用するコンテンツが用意され、該当箇所に「Dマーク」を付し、学習効果を高める工夫がなされている。各章の最後に、学習内容を整理する「ふり返りの活動」や「基礎・基本のまとめ」を設け、思考力、判断力、表現力等と知識及び技能の定着を確認できるよう工夫がなされている。

全体として、導入の活動をもとに「探究課題」を設定し、1時間ごとの学習課題を追究する課題解決的な学習になるようにし、単元を通じた学習の成果として「探求課題」が解決できるような配慮がなされている。多様な思考ツールを掲載しており、学びを振り返って思考を整理したり、考えを構造化したりできるような工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
社会 (地図)	46	帝国	中学校社会科地図

選定した理由

2社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、世界や日本の地図と多様な資料、情報を掲載し、幅広い知識や教養を身に付けられるよう構成されている。地図や資料の活用例を示し、地域的特色について調べたり発表したりしやすいよう配慮がなされている。鳥瞰図や写真、デジタルコンテンツ等により、地域的特色に興味・関心をもち、進んで調査・発表できるよう工夫がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、地名や地域区分を明確に示し、各国・各州の気候や産物・宗教等についてイラストやグラフで示すことで、地域的特色が読み取りやすいよう工夫がなされている。多様な地図や資料を掲載し、「地図で発見！」に活動例を示し、日本の都市の詳細な地図や土地利用図も掲載しているため、多様な学習に対応できるよう工夫がなされている。全体的に色使いが明るく、統計のページでは上位と下位の項目の数字を色分けしたり、5カ国ごとに点線で区切ったりして、読みやすい工夫がなされている。また、世界の統計では、州毎の色遣いを統一することで、世界における州の特色を読み取りやすくする工夫がなされている。同様に、日本の統計においても地方毎に工夫がなされている。統計資料には最新の値を掲載しており、世界の都市名も世界情勢を反映させて更新されている。

学習指導への配慮では、世界の環境と生活や、地域によって異なる産業の様子など、地域ごとに特色のある事象に沿って地図や資料を配置し、授業の展開にそれらが効果的に活用できるよう構成されている。どの地域も、地図の次に資料がくるように構成し、関連する地図や資料を同じ縮尺で表すことで、比較しやすく、関連付けて考察できるよう配慮がなされている。巻頭でSDGsについて特集し、その後もSDGsのトピックを設定し、世界情勢を反映させた拡大地図や日本の防災・観光についての資料を掲載するなど、最新の社会的事象や課題について考えられるよう配慮がなされている。多様な地図や資料を見開き2ページ内に収め、活用例を「地図で発見！」で示し、日本の歴史に関する年表も掲載することで、分野を横断した学習展開にも生かせるよう工夫がなされている。

全体として、多様な資料を同縮尺の地図上に掲載することで、比較したり関連付けたりしながら思考を広げられる工夫がなされている。SDGsや最新の世界情勢を反映させた地図を掲載して、世界の諸課題に目を向けられるよう工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
数学	6 1	啓林館	未来へひろがる数学

選定した理由

7社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、具体的な例や既習事項と関連付けたり、補充問題で確認をしたりするなど、知識及び技能を確実に習得できるよう工夫がなされている。日常事象や数学の場面を「数学的な見方・考え方」の観点から捉え、論理的、統合的・発展的に考えられるよう配慮がなされている。数学を積極的に生かそうとする態度や、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う工夫がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、具体から抽象、基礎から発展へとつなげ、基礎的・基本的な内容をスモールステップで展開することで、多様な考え方や数学的な処理の仕方を学べるよう工夫がなされている。問題発見と解決の過程をステップ方式で示し、自分で問題を発見したり、解決の過程を振り返って深めたりすることができるよう工夫がなされている。身の回りや数学の事象から見出した問題を、既習事項を活用して考え、表現する活動を取り入れる配慮がなされている。「ふりかえり」での既習内容の学び直しや、習熟度に合わせた章末問題や巻末の「学びをふりかえろう」「力をつけよう」での反復学習ができるよう工夫がなされている。ユニバーサルデザインフォントの使用、意味や文節による改行など、様々な生徒の特性を踏まえた学習への配慮がなされている。

学習指導への配慮では、まとまりのある内容ごとに単元が構成され、数学を学ぶ意義や有用性が実感できるような構成になるよう配慮がなされている。関連する既習事項や、前後のつながりを重視し、生徒の発達段階に合わせ系統的に学習を進められるよう工夫がなされている。生徒主体の学習となるように、問題発見・解決の過程で働かせる「数学的な見方・考え方」を示し、繰り返し触れることで、「数学的な見方・考え方」を働かせることができるよう工夫がなされている。巻末の「数学広場」の「力をつけよう」には補充問題や入試問題、「学びをいかそう」には身の回りで活用する課題が掲載されており、個に応じた指導に生かせるよう工夫がなされている。用語・記号は明確・簡潔に表すのに有効なものを厳選し、学習場面と関連した写真や、説明を補うための図を配置するなど学習の理解を助ける配慮がなされている。章末問題のチェック欄での生徒自身の自己評価、章末の「章のあしあと」での自己の学習の振り返りなど、自己評価や観点別評価の設定に役立てることができるよう工夫がなされている。

全体として、問題を発見・解決し、その過程を振り返って評価・改善を図ったり、新たな問題を設定したりできるよう工夫がなされている。「たいせつな考え方」として「数学的な見方・考え方」を明確にし、数学的に考える資質・能力が育つよう工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
理科	2	東書	新編 新しい科学

選定した理由

5社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、つまずきやすい項目には「例題」「練習」を配置し、「考え方」で詳細な解説を示すことで知識及び技能の定着が図られている。探究の過程に直結した活動が段階ごとに示されており、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫がなされている。学習前後に同じ問いかけ「Before & After」を設定し、学ぶ意味や有用性を実感でき、主体的に学ぶ態度が育つよう工夫がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、既習事項や他教科と関連する内容を「これまでに学んだこと」、「(教科名)で学ぶこと」として示し、より深い理解につながるよう工夫がなされている。問題発見として重点を置く節では「問題発見 レッツスタート!」で、生徒の気付きや認知的葛藤を生じる場面を設定することにより、探究活動を促すよう工夫がなされている。思考する場面に、対話例を効果的に位置付け、生徒のつまずきへの支援とともに、対話的な活動を促すよう工夫がなされている。注意事項が視認性の高いマークで示されており、安全や環境に対する配慮がなされている。グラフ等の図版は色で区別するだけでなく、線種で区別したり、意味を言葉で示したりすることで、全ての生徒が見やすくなるよう配慮がなされている。

学習指導への配慮では、教材の入手時期や、既習事項との連続性や発展性を考慮して単元を配列し、授業で扱う事項が広がりをもつよう工夫がなされている。問題発見や構想、分析解釈などの場面で、働かせたい「理科の見方・考え方」が示され、科学的な解決や深い学びにつながるよう配慮がなされており、スムーズに展開ができるよう工夫がなされている。見開きの授業時数が1時間になるように編集され、その中で育む資質・能力がページ下部の「探究のステップ」と対応するよう工夫がなされている。観察、実験の手順がステップを踏むように設定されており、観察、実験が安全に実施できるよう配慮がなされている。身近なものを対象とした図や写真・コラムを掲載し、日常生活と科学とのつながりを実感しやすくなるよう工夫がなされている。学習問題に対する考えを自分の言葉でまとめ、巻末で示された記述例との比較により、自己の評価に生かせるよう工夫がなされている。

全体として、学習指導要領の趣旨を的確に反映し、①理科の見方・考え方を働かせ、豊かな思考を促す場面設定、②探究の過程における各場面が連動して充実する展開等により、科学的に探究する力が十分に育成されるよう工夫がなされている。導入の場面で写真、イラストにより生徒の興味・関心を喚起したり、身近な題材を取り上げ既習概念との「ずれ」を生じさせたりすることで、主体的に探究する力が育まれるよう工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
音楽 (一般)	27	教芸	中学生の音楽

選定した理由

2社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、各教材に学習問題が提示され、それを解決するヒントが記載されていることにより、生徒が見通しを持って主体的に学べるよう工夫がなされている。音楽を形づくっている要素を楽曲ごとに記載することで、「音楽的な見方・考え方」を働かせて活動できるよう工夫がなされている。普段聞こえてくる音や、音楽と生活や文化とのかかわりについて考える資料があることにより、音楽に関する感性が豊かになるよう工夫がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、各学年の発達段階に応じた学習内容が配置され、目次に続くページには各教材で身に付けたい力が記載していることで、生徒が見通しを持って意欲的に学べるよう工夫がなされている。作者からのメッセージが記載されていたり、曲の背景やイメージを写真やイラストで示したりすることで生徒の興味・関心を高められるよう工夫がなされている。キャラクターの吹き出し等により生徒が演奏・鑑賞する時のポイントをおさえたり、より発展的な内容に興味を持って自己の考えを広げたりしながら深い学びができるよう配慮がなされている。鑑賞では様々なジャンルの音楽が記載され、写真や説明で理解を深めたり、聴き比べたりすることで音楽のよさを実感できるよう工夫がなされている。誰にでも見やすい配色にしたり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりすることで可読性、可視性を高められるよう配慮がなされている。

学習指導への配慮では、変声期について詳しく記載する等、生徒の発達段階に応じて学ぶことができるよう題材が配置されており、系統的に学習できるよう配慮がなされている。「学びのコンパス」のページに沿って学習を進めることで段階を追って学習を深められるよう工夫がなされている。鑑賞では、伝統的な歌唱を絵譜で示したり、指揮について扱ったりすることで体験活動を取り入れ、実感を伴って学べるよう工夫がなされている。二次元コードが多く配置され、楽譜や音源を個人で確認できるよう工夫がなされている。多様な音楽活動の写真や、吹き出しを入れることで幅広い音楽の価値観を学びながら協働的な学びができるよう工夫がなされている。楽曲から知覚・感受したことや学習内容を書き込めるようになっていて、その題材で学んだこと等が振り返ることができるよう工夫がなされている。

全体として、生活や社会における音楽の役割についてのページや、我が国や郷土の伝統音楽についてのページが充実していて、音楽文化と主体的に関わっていく態度を養えるよう工夫がなされている。情景をイメージできる写真やイラストが多く掲載され、生徒が主体的に学べるよう工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
音楽 (器楽合奏)	27	教芸	中学生の器楽

選定した理由

2社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、各楽器の奏法や運指等が詳細に示され、音楽表現をするために必要な技能を段階的に身に付けられるよう配慮がなされている。教材ごとに、具体的な学習目標や学習活動例が記載されていて、主体的・創造的に学習を進められるよう工夫がなされている。楽器ごと様々なレベルに応じた曲が記載されていたり、楽器の種類や奏法、鑑賞曲等が多面的に紹介されていたりするので、生徒が興味を持って学習に取り組めるよう工夫がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、初心者でも演奏できる曲が掲載されているため、発達段階に応じて少しずつ技能を高めていけるよう配慮がなされている。生徒が初めて取り組む楽器においても、いつでも奏法が確認できるよう、教科書に二次元コードがたくさん用意されている。学習目標を達成するための具体的なアドバイス等が示され、主体的・創造的に活動が進められるよう工夫がなされている。楽器ごとに様々な演奏形態の写真が提示されていたり、創作の学習が設定されていたりと鑑賞と表現を一体化させながら多様な音楽活動ができるように工夫がなされている。誰にでも見やすい配色にしたり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりすることで可読性、可視性を高められるよう配慮がなされている。

学習指導への配慮では、楽器の持ち方や姿勢、音の出し方、チューニングの仕方等を丁寧に記載し、徐々に曲の難易度が上がるように教材が配列されていて、無理なく系統的に学んでいけるよう配慮がなされている。過去に学んだ作品を楽器で演奏できるように楽譜が示されているので、既習の学びを生かせるよう工夫がなされている。巻末に「アンサンブル」のページがあり、発展的な教材が用意されているので、各楽器の基礎・基本を学んだ後に「音楽的な見方・考え方」を働かせながらさらに技能や表現を深めることができるよう工夫がなされている。楽器や教材について理解やイメージを深められるよう、二次元コードを配置し、個に応じて弾力的に学習を進めていけるよう配慮がなされている。各楽器の特徴や奏法等が写真や図で説明されているので、生徒がイメージを持ちながら練習に取り組めるよう工夫がなされている。学習目標や演奏や練習のポイント等が記載されているので自己評価をしながら学習できるよう工夫がなされている。

全体として、音楽を形づくっている要素を記載することで、「音楽的な見方・考え方」を働かせて活動できるよう工夫がなされている。演奏家のメッセージや実際に演奏している写真を掲載し、楽器に興味を持ったり、生活や社会における音楽の役割を意識したりしながら学習できるよう工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
美術	1 1 6	日文	美術

選定した理由

3社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、「学びを支える資料」が各巻末に紹介され、各題材や用具の扱い等について生徒が主体的に追求を深めていけるように配慮がなされている。多くの作品、写真、作者の言葉が紹介されており、生徒が見方や感じ方を広げ、興味をもって造形活動に取り組めるように工夫がなされている。美術での学びに関連した作家などの言葉に触れ、生徒が生活や社会の中で美術を生かしたり、創造したりしていく良さを実感できるように配慮がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、1領域の中に、各学年の発達段階に応じた表現活動が紹介され、材料や技法なども複数取り上げ、生徒の興味や関心に応じて、表現方法が選べるよう配慮がなされている。生徒の表現の意図や追求の道筋を、「作者の言葉」や制作中の具体的な生徒の姿で紹介することで、多様な発想を得ながら、造形活動が行えるよう工夫がなされている。「作者の言葉」や「表現のヒント」で、主題や表現方法について見通しをもったり振り返ったりすることができ、主体的・対話的な活動に役立つように工夫がなされている。用具の安全な使い方について、図や写真、二次元コードからの動画、注意喚起マークによって視覚的に分かるよう配慮がなされている。中央見開きページなどでは、美術作品がほぼ原寸大で掲載され、作品によっては高精細印刷で実物に近く再現されている。

学習指導への配慮では、各学年で扱う内容が1冊ずつに示されており、題材構成は3冊を通して系統性に配慮して配列されている。また、生徒の発達に十分配慮した材料や用具が取り扱われている。全ての題材に、鑑賞する際の主発問となり造形的な見方・考え方に気付かせる「鑑賞の入り口」という問いかけがあり、表現と鑑賞が一体的に学習できるように工夫がなされている。題材毎、図版から気付いて欲しい点等が問いかけの言葉で示され、生徒自らが見方や感じ方を広げられるよう配慮されている。技法や材料に関する資料が写真を多めに分かりやすく掲載され、QRコンテンツ動画も充実しており、生徒が主体的に制作できるように工夫がなされている。紙面は作品を生かすように白地を基調とし、装飾を抑え主文の位置等にも配慮し、見やすい紙面になっている。表現の手助けとして二次元コードが配置され、主体的に学べる工夫がなされている。3観点に合わせた「学びの目標」により、目標に照らして生徒の追求を振り返られるように工夫がなされている。発想・構想と鑑賞を往還しながら活動することができるよう配慮がなされている。

全体として、3分冊による学年ごとの題材構成で、大きな図版を用い、生徒が興味をもって発想や構想を深められるように工夫がなされている。

・図版への具体的な問いかけ「造形的な視点」が示されており、追求をより深めていけるよう工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
保健体育	224	学研	新・中学保健体育

選定した理由

4社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、学習の流れや1時間の流れ、さまざまな学習方法が明確に示され、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践ができるよう工夫がなされている。体育と保健の両分野において、探究的な学習課題が豊富に用意されおり、課題に対して主体的・対話的に取り組むことで、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力、健康の保持増進のための実践力を高められるよう工夫がなされている。巻頭の関連資料から運動や健康・安全について様々な視点で見たり考えたり、毎時間のまとめとして「学びを生かす」に取り組んだりすることで、保健体育の学習を通じてよりよく生きようとする態度を育てられるよう工夫がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、生徒の発達段階に応じて内容が学年別に配列され、3年間の見通しをもって学習できるよう配慮がなされている。各章末の「探究しようよ!」では、複数の探究テーマが示されており、各自の興味・関心に応じた課題の解決に向けた学習ができるよう工夫がなされている。ページ下部に掲載される「情報サプリ」や「関連」、身近な課題を取り上げた「エクササイズ」や「実習」に取り組むことで、他分野や他教科、生活等と関連付けて学習できるよう配慮がなされている。用語だけでなく、文章にも脚注がついており、理解をより深める手助けとなっている。また、すべての見出しに吹き出しがついており、学習の課題がより明確になるよう工夫がなされている。ユニバーサルデザインフォントの使用、グラフ等も含めた統一感のある配色、彩度を抑えた色の使用、区切り線を使用しない等、全体的にすっきりしたページ構成で読みやすいよう工夫がなされている。

学習指導への配慮では、「章の扉に学習内容と小学校で学習したこと、高校で学習することが明記され、学習の系統性を示す配慮がなされている。「関連」で分野相互の関連付けや他教科との関連付けがなされている。また、キーワードごとに体育偏と保健編、体育実技・各教科との関連が一覧にまとめられており、それぞれの関連がわかりやすく捉えられるよう工夫がなされている。さまざまな学習方法や課題学習の整理の仕方が示されるとともに、「エクササイズ」や「学びを生かす」の中に「協働」で取り組む課題が設定され、教え合い学び合えるよう工夫がなされている。章のまとめに、その章で学んだキーワードとページ番号の記載、確認問題を設けることで、知識の定着が図られている。また、章のまとめの「生活への活用」や学年末の「年間の振り返り」を設けることで、自身の健康や安全への考えを深められるよう工夫がなされている。写真は新型コロナウイルスや2022年以降に発生した自然災害など、最新のトピックが多く使用されており、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。章のまとめは、「この章で学んだキーワード」・「振り返り」・「確かめよう」・「生かそう」で構成されており、「振り返り」では、評価の観点の明確化への工夫がなされている。

全体として、各単元が「ウォームアップ」で課題をつかみ、「エクササイズ」や「学びを生かす」で実践的な課題解決能力の育成を図る一連の流れで構成されており、主体的な学びとなるよう工夫がなされている。身近な課題を例として取り上げ、意見を出し合いながら対話的に学びを深めることで、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう工夫がなされている。写真や資料の配置、適度な余白、使用する色数を減らすなど、読みやすい工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
技術・家庭 (技術分野)	2	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology

選定した理由

3社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、原理・法則や基礎的な仕組みについて、図などを効果的に掲載し科学的根拠に基づく知識及び技能が身に付くよう工夫がなされている。多様な問題解決例を数多く取り上げ、個々の課題設定や課題解決に生かすことができるよう配慮がなされている。今日の社会で問題にされている課題に取り組む技術を紹介することで、生徒の興味・関心が高まるよう配慮がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで、基礎・基本から応用・発展へと学べるよう、単元構成の工夫がなされている。「問題解決例」や「社会の発展と技術」等の身近な例から、生活を工夫し創造することができるような題材構成の工夫がなされている。「技術のめがね」「最適化の窓」「技術の工夫」などの身近な例を掲載し、興味・関心をもった追究ができるよう工夫がなされている。実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、ガイダンスや「安全」マーク、「衛生」マークで記し、安全面・衛生面への配慮がなされている。さし絵・写真・図表・配色等が鮮明で、本文はユニバーサルデザインフォントを使用している。実習例等を見開き2ページに大きく表示し、学習の見通しが持てるよう配慮がなされている。

学習指導への配慮では、ガイダンスで、3年間で身に付く資質・能力について、小学校での学習や、他教科との関連がつかめるよう配慮がなされている。生活や社会と技術との関わりや、「すごいぞ！技術」で各内容に関連する最先端の技術を紹介することで、生活との関連性や社会変化に対応した技術に関心をもてるよう配慮がなされている。各編の導入において、身の回りの製品や社会における技術の最適化について取り上げ、「技術の見方・考え方」によって、既存の技術の工夫を読み取ることができるよう配慮がなされている。個別に調べたり他者と学び合ったりする場面を設定することで、原理、技術の工夫について他者と関わり合いながら主体的に学ぶことができるよう配慮がなされている。さし絵・写真・図表等の内容は適切で、文章と関連をもたせた構成になっており、随所に二次元コードを配置することで、具体的に学習を広げられるよう配慮がなされている。節の冒頭に観点別評価につながる目標を示し、編末には評価の観点に沿った設問を掲載することで、生徒が身に付けた資質・能力を確認できるよう工夫がなされている。

全体として、各内容における問題解決後に、レーダーチャートを用いた問題解決の評価、改善・修正を行うページを各編に設けている。ものを作ることで終わりとはせず、見方・考え方を働かせてさらなる問題解決に向かいたくなるような内容の工夫がなされている。統合的な問題解決例が分かりやすく示されている。学習のプロセスにおいて、具体的にどのような材料やツールを用いて学習を進めればよいのかが、見開き1ページにすっきりとまとめられている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
技術・家庭 (家庭分野)	2	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して

選定した理由

3社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、生徒が自ら問題発見ができるように、生徒の「問い」を引き出す問題発見・課題設定が編扉ページでされている。主体的・対話的な学習を促し、深い学びにつながるために、活動例や「生活の課題と実践」等、様々な場面で思考ツールが用いられている。生活の中から課題を見つけ、実践を通して解決し、生活に生かすことができるように、問題を解決する道筋をガイダンスの中で具体例を用いてわかりやすくしている。

生徒への学習活動への配慮では、編の始めに、小学校で学んだことや見方・考え方・機能等が明記されている。また、複数の問いがあり、課題設定を書きこむことができる欄が設けられている。全体を通して、生徒の問いを引き出すように、①4つの見方・考え方をマークで表現②編扉ページのキャラクターのせりふ③レッツスタートと学習課題④学習のまとめと生活の課題と実践で構成されている。調理実習では、見開きページに大きな献立の写真を配置し、生徒が到達目標をイメージできるように工夫されている。また、豊富な実習例により、生徒の実態に合わせた選択ができるように工夫されている。調理実習のページでは、食物アレルギーの原因となる食品に印をつけることで、自分自身や他者の安全を意識した食品選択が追究できるように配慮されている。ユニバーサルデザインフォント等、全ての生徒にとって読みやすく工夫されている。また、挿絵、写真、図表、配色等が鮮明で、生徒の学習意欲を高めるよう配慮されている。ページの左右にインデックスがあり、生徒が学習するページを開きやすいように配慮されている。基本ページでは生徒が毎時の学習内容を一目で見渡せるように、見開きで構成されている。

学習指導への配慮では、「リンクマーク」により、他の内容や他教科との結びつきを示し、学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるよう配慮がなされている。「資料」の図表や「せいかつメモ」、環境等各種マークにより、生徒の家庭生活や地域の行事等に関連づけて指導できるよう配慮されている。防災、減災の学習において、身近な災害や実体験を取り上げた安全教育の実践等、生徒の実態に合わせた題材の取り扱いができるように配慮されている。生活を見つめ、個別や集団で学びながら知識及び技能を高め、資質・能力の向上につながるように学習が配列されている。各編のまとめでは、学びを生活に返し、家庭との連携に発展する内容で構成されている。手ばかり目ばかりの手法で食品の概量が実物大写真で掲載されており、食材の量感を捉えられるように工夫されている。各編末の「学習のまとめ」では、各学習内容における興味・関心をもったことや自分なりの課題を書く記述欄が設けられており、「生活の課題」と「実践のテーマ」につなげることができるようになっている。各節の「レッツスタート」や「やってみよう」で、様々な思考ツールが取り上げられ、物事を考えたり意見を整理したりする際に有効である。そのツールを活用し、生徒が主体的・協働的に学習活動に取り組めるよう、配慮されている。

全体として、QRコンテンツが373コンテンツととても充実しており、多くの選択肢の中から生徒が主体的に選択することができ、自由進度学習に対応することができる。全ての生徒の学習しやすさを考慮し、ダイバーシティへの配慮をしている。(左利きへの対応、共生への配慮等)各編末にSDGsについて考える章が新設されており、これから生きる生徒が学習で得た見方・考え方をSDGsにつなげて考えることができる。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
外国語 (英語)	9	開隆堂	Sunshine English Course

選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、各単元のとびらに目標が分かりやすく示されており、またその目標の達成度を自己評価できるような工夫もされている。導入部分で新出表現を取り上げているため、基礎・基本が身に付きやすく、実際に新出表現を使いやすいよう構成されている。新出表現導入の場面では、日常会話が設定されており、それをを用いてすぐに会話練習ができるよう工夫がなされている。外国の文化や日本の文化、学校行事についても触れられており、興味をもってコミュニケーションが図れるよう工夫がなされている。

児童への学習活動への配慮では、「Get Ready」では小学校で学習した内容を「聞く」「話す」「読む」「書く」ことの順番で復習できるよう工夫がなされている。1年次では、主に日常的话题や外国の文化や自然についての話題に多く触れており、2・3年次では、社会的な話題や課題解決について考えたりできるようになっている。SDGsと結びつけられた題材が多く、目次や単元のはじめには、SDGsのどの項目があてはまるのか示されており、社会的な話題について外国語を通して学べるよう工夫がなされている。各学年に配置されている「Our Project」では、単元で学習した新出表現を使って自分の考えを伝える活動が設定されている。題材導入のページではクイズや簡単なリスニングで、これから学習する単元の内容がイメージできるよう工夫がなされている。

学習指導への配慮では、単元はじめのとびらで目標を確認し、新出表現を導入してから本文の内容を理解し、最後に自己表現できるよう構成されている。「Scenes」の「Listen」で、必要な情報を聞き取り、「Speak & Write」で、ペアでの対話の後に自分のことを書く流れになっており、新出表現を身に付けやすいよう工夫がなされている。「Our Project」では、スピーチに向けて、モデル文を読んだり、伝えたい内容を書き出したりすることによって手立てが分かりやすく、自己表現力等を育成しやすい工夫がなされている。「Review」や「Retell」で本文の内容を自分の内容を振り返り、「Action」で本文の題材に関連した自己表現活動が設定されている。ところどころに現れる動物のキャラクターがポイントを説明しており、学習者がポイントに注目しやすいよう工夫がなされている。巻末のCAN-DOリストで、単元ごと何ができるようになったのかをチェックして、達成度を把握できる工夫がなされている。

全体として、新出表現導入の場面の「Scenes」は、2コマ漫画で表されており、表現を実際に使う場面が分かりやすく、これから学ぶ新出表現に興味をもたせる工夫がなされている。

「Review&Retell」では、吹き出しを用いたさし絵を活用し、即興でやりとりができるよう工夫がなされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
道徳	17	教出	中学道徳 とびだそう未来へ

選定した理由

7社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、各内容項目の教材が生徒の実態と関連するように配置されており、生徒自身が自己を見つめられるよう配慮がなされている。思考ツールや動作化、役割演技など、物事を広い視野から多面的・多角的に考えらえる工夫がなされている。教材末の「学びの道しるべ」では、生徒が人間としての生き方について考えを深められるような工夫がなされている。

生徒への学習活動への配慮では、各学年の第1教材では、発達の段階や生活実態に応じるような道徳的価値の説明が位置付く配慮がなされている。教材冒頭右下「導入の問い」で、生徒の日常生活や同様の場面と道徳的価値の追求とが結び付く点が優れている。教材末の「学びの道しるべ」の三つの問いによって、道徳的価値について段階的に学びを深められる点が優れている。役割演技やリフレーミングなどの体験的な活動が複数回取り入れられ、多面的・多角的に考えられる工夫がなされている。全ての教材の配色・マークと内容項目とが関連付けられており、道徳的価値について考えられるよう配慮がなされている。性別、人種等の偏りが無いようにイラストを配置したり、話者のイラストを会話文の上に配置したりする配慮がなされている。

学習指導への配慮では、学年に応じ、巻頭に配置される「さあ、道徳を始めよう！」の漫画と、「道徳科の学習とは、」の紹介、第1教材とが関連付き、内容項目も含め発達段階に応じた配慮がなされている。全学年で複数の教材とコラムを組み合わせた単元や、充実した補助教材をもとに、柔軟なカリキュラム編成が可能となる工夫がなされている。漫画や端末でのやり取りをイラストにした教材や意識調査を掲載したコラムを基に、「情報モラルと情報活用力」について、多面的・多角的に考えられる配慮がなされている。道徳的諸問題が生じた場面や、物語教材での登場人物の感情が変化した場面の挿絵を掲載することで学習指導に生かせる工夫がなされている。巻末に、学期ごとと1年間を振り返るページが設置されており、道徳性に関わる自己の成長の様子を確認したり、把握したりできるよう工夫がなされている。

全体として、生徒の日常生活から道徳的価値を想起させる導入の問いと、教材を基にさらに道徳的価値に迫る教材末の三つの問いとによって、自分事として多面的・多角的に考えられる点が優れている。「いじめ問題」「多様な人々や自然環境との共生」「生命の尊重」について複数の教材を連続して扱ったり、コラム「ひろば」と組み合わせたりして問題の本質に迫れるよう工夫がなされている。